平成３０年度　第４２回　全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦　評　用　紙

女ｇ

女子　決勝

会場　キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点				総得点	チーム名
明光学園	20	13	－	8	15	白梅学園
		7	－	7		
			－			
			－			
			－			
			7mTC			

白梅学園のスローオフから始まった女子決勝。白梅学園は４年ぶりの、明光学園は初の選抜優勝を目指す。前半は明光学園６白石のカットインでスタート。平均身長の高い白梅学園の４－２DF に対し、明光学園は速いパス回しから９中園のカットインを中心に得点を重ねる。白梅学園はポストを起点に３平野のサイドシュートで追いかけるも、明光学園１柿添がナイスセーブを連発、じわじわとリードを広げ１３対８で前半を終える。後半、白梅学園のディスタンスシュートが決まり始めると３連続得点で、３点差まで詰め寄る。しかし決定的な場面で明光学園１柿添が白梅学園のシュートをシャットアウト。逆にポストを中心に得点を重ね３連続得点。白梅学園の追い上げを許さない。２５分白梅学園はマンツーマン DF をしかけ最後まで粘りを見せるも、明光学園が、追う白梅学園を２０対１５で振り切り、平成最後の栄冠を手にした。

３１年　　３月　２９日

記載者氏名　　植村　彰太

平成３０年度　第４２回　全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦　評　用　紙

男ｇ

男子　決勝

会場　キッコーマンアリーナ

チーム名	総得点				総得点	チーム名
香川中央	26	12	―	15	23	高岡向陵
		14	―	8		
			―			
			―			
			―			
			7mTC			

男子決勝戦は向陵のスローオフから始まる。序盤は両チームとも冷静な立ち上がりだが、向陵中村のミドルシュートを皮切りに一気にテンポが速くなる。だが両チームGKの好セーブにより中々流れをつかめず一進一退の攻防が続く。中央は綺麗なコンビネーションと多彩な個人技を持ち、田井、木太、谷、大須賀が続けて４点連取し、点差が開く。たまらず流れを変えたい向陵はタイムアウトを申請。ディフェンスの体制を整えた向陵はGK塚本と共にシュートコースを限定し中央の得点を許さない。また向陵キャプテン金岡のミドルシュートを中心に得点を重ね２２分初めて逆転する。攻撃の手を緩めない向陵は村藤のスカイプレーも決まり１５対１２で前半を折り返す。

後半中央は変則ディフェンスで対抗しパスカットや高い位置からシュートを打たせマイボールにする。向陵は力強い１：１を起点にして崩し７ｍスローの獲得やポストシュートで応戦する。拮抗した戦いが続くが後半２２分中央木太の速攻から同点に追いつき、残り５分またもや中央木太のミドルシュートが決まり逆転する。中央は最後まで足を止めず体を張ったディフェンスで守り抜き２６対２３で勝ち切り平成最後の大会の幕が閉じた。

３１年　　３月　２９日

記載者氏名　　水野　恭宏